

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2025年11月18日

## 訪日外客数（2025年10月推計値）

◇10月：3,896,300人、10月過去最高を大幅に更新

- 10月の訪日外客数は3,896,300人で、前年同月比では17.6%増となった。10月として過去最高であった2024年の3,312,193人を58万人以上上回り、同月過去最高を更新した。
- 10月は紅葉シーズンの始まりを迎える、欧米豪・中東を中心に訪日需要が高まる時期であるほか、東アジアでは連休に合わせた訪日需要が見られたこと等により、東アジアでは韓国、東南アジアではインドネシア、欧米豪では米国を中心に訪日外客数が増加したことが今月の押し上げ要因となった。
- カナダ、メキシコなど5市場で単月過去最高を更新したほか、韓国や台湾、米国など13市場で10月として過去最高を記録した。
- 2023年3月に策定された第4次観光立国推進基本計画では3つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示されるとともに、旅行消費額・地方部宿泊数等に関する新たな政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

\*月別推計値と2003年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客統計」参照のこと。

<https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

「月別推計値（Excel）」、「国籍/月別 訪日外客数（2003年～2025年）（PDF・Excel）」

\*訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

\*単月過去最高の5市場はカナダ、メキシコ、フランス、ロシア、北欧地域。

\*10月過去最高の13市場は韓国、台湾、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、豪州、米国、ドイツ、イタリア、スペイン、中東地域。

【お問い合わせ先】  
企画総室 調査・マーケティング統括グループ  
TEL: 03-5369-6020 E-MAIL: data@jnto.go.jp



Japan.  
Endless  
Discovery.

独立行政法人 国際観光振興機構  
企画総室 広報グループ

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4  
TEL: 03-5369-3342 FAX: 03-3350-5200  
URL: <https://www.jnto.go.jp/>

# 2025年 訪日外客数・出国日本人数

## 2025 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)

Japan National Tourism Organization (JNTO)

(単位:人 / Unit: Persons)

	訪日外客数			出国日本人数		
	Visitor Arrivals		伸率 Change %	Japanese Overseas Travelers		伸率 Change %
	2024	2025		2024	2025	
1 Jan.	2,688,478 (2,386,640)	3,781,629 (3,455,149)	40.7 (44.8)	838,581	912,298	8.8
2 Feb.	2,788,224 (2,548,085)	3,258,491 (2,965,065)	16.9 (16.4)	978,884	1,181,062	20.7
3 Mar.	3,081,781 (2,771,105)	3,497,755 (3,149,434)	13.5 (13.7)	1,219,789	1,423,449	16.7
4 Apr.	3,043,003 (2,763,384)	3,909,128 (3,587,187)	28.5 (29.8)	888,767	961,386	8.2
5 May	3,040,294 (2,758,219)	3,693,587 (3,368,573)	21.5 (22.1)	941,709	1,076,756	14.3
6 Jun.	3,140,642 (2,913,631)	3,377,985 (3,110,559)	7.6 (6.8)	930,229	1,054,045	13.3
7 Jul.	3,292,602 (3,055,187)	3,437,118 (3,161,501)	4.4 (3.5)	1,048,823	1,205,435	14.9
8 Aug.	2,933,381 (2,646,445)	3,428,406 (3,072,139)	16.9 (16.1)	1,437,126	1,648,279	14.7
9 Sep.	2,872,487 (2,544,751)	3,266,800 *	13.7 *	1,212,545	1,394,526	15.0
10 Oct.	3,312,193 (3,021,710)	3,896,300 *	17.6 *	1,148,502	1,243,600 *	8.3 *
11 Nov.	3,187,175 (2,922,383)			1,175,117		
12 Dec.	3,489,888 (3,280,013)			1,187,210		
1~10 Jan.-Oct.	30,193,085 (27,409,157)	35,547,200 *	17.7 *	10,644,955	12,100,800 *	13.7 *
1~12 Jan.-Dec.	36,870,148 (33,611,553)			13,007,282		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、\*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値、2024年の値は確定値である。

◆注3: 訪日外客数及び\*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: ( )内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、

日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。

駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are definitive (2024) and provisional, while \* stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in ( ) represent the number of tourists among the total.

## 2025年10月 訪日外客数 (JNTO推計値) (対2024年比)

Visitor Arrivals for Oct. 2025 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2024)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2024年 10月	2025年 10月	伸率(%)	2024年 1月～10月	2025年 1月～10月	伸率(%)
総数	Grand Total	3,312,193	3,896,300	17.6	30,193,085	35,547,200	17.7
韓国	South Korea	732,167	867,200	18.4	7,200,882	7,660,800	6.4
中国	China	582,919	715,700	22.8	5,830,710	8,203,100	40.7
台湾	Taiwan	478,902	595,900	24.4	5,064,792	5,632,600	11.2
香港	Hong Kong	198,827	196,000	-1.4	2,170,776	2,018,600	-7.0
タイ	Thailand	132,188	125,900	-4.8	884,181	941,700	6.5
シンガポール	Singapore	68,790	65,700	-4.5	459,146	496,200	8.1
マレーシア	Malaysia	55,091	57,800	4.9	373,227	464,800	24.5
インドネシア	Indonesia	43,215	53,400	23.6	393,816	502,500	27.6
フィリピン	Philippines	80,244	86,200	7.4	623,066	677,500	8.7
ベトナム	Vietnam	50,982	53,200	4.4	530,900	583,000	9.8
インド	India	21,706	29,400	35.4	192,518	262,800	36.5
豪州	Australia	90,157	96,200	6.7	727,430	851,500	17.1
米国	U.S.A.	278,461	335,700	20.6	2,238,607	2,733,400	22.1
カナダ	Canada	66,524	73,700	10.8	483,840	568,300	17.5
メキシコ	Mexico	19,199	24,800	29.2	126,282	162,700	28.8
英国	United Kingdom	51,637	63,300	22.6	369,861	455,200	23.1
フランス	France	49,389	58,200	17.8	333,233	390,100	17.1
ドイツ	Germany	43,351	56,000	29.2	284,902	375,400	31.8
イタリア	Italy	25,063	29,400	17.3	193,795	257,200	32.7
スペイン	Spain	23,391	28,700	22.7	152,971	207,700	35.8
ロシア	Russia	15,701	30,100	91.7	79,533	159,300	100.3
北欧地域	Nordic Countries	18,699	23,900	27.8	127,805	163,900	28.2
中東地域	Middle East	20,859	27,900	33.8	134,550	211,700	57.3
その他	Others	164,731	202,000	22.6	1,216,262	1,567,200	28.9

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2024年の数値は確定値、2025年の数値は推計値である。

◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。  
なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。

◆注4：北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。

◆注5：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2024 are definitive, while figures for 2025 are the preliminary ones estimated by JNTO.

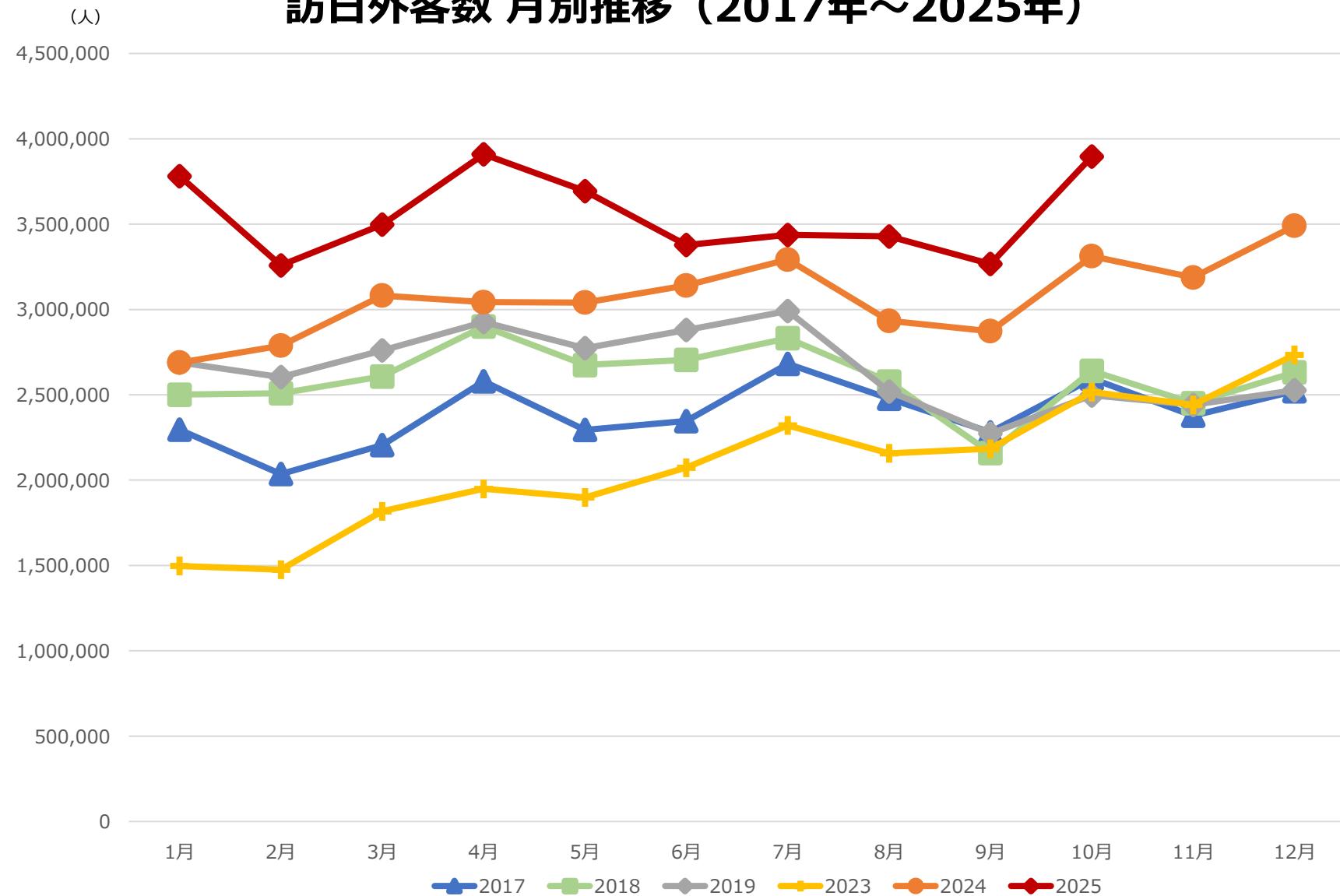
◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for transit.

Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.

◆Note 4. Nordic Countries refer to Sweden, Denmark, Norway, and Finland.

◆Note 5. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

## 訪日外客数 月別推移 (2017年~2025年)



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外客数が大幅に減少していた2020年～2022年の数値は除く。  
※2019年7月以降、日韓情勢悪化等により訪日旅行を控える動きが発生していたこと等もあり、訪日韓国人旅行者数が減少傾向にあったことに留意する。

# 地域別訪日旅行市場の概況

注) 訪日外客数は2025年10月の数値、これ以外の情報はJNTOで把握している最新の情報(2025年11月12日時点)としている。なお、増便とは既存の航空路線において前年同月と比較し航空便数が増えたこと、復便とは運休となっていた航空路線で2025年10月から運航が再開したこと、新規就航とは新たな航空路線が就航したことを指す。

## 全市場共通

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の拡大以降、航空・旅行会社を取り巻く人手不足や旅行費用の高騰等の課題が多くの市場で見られている。また、欧州地域においてはウクライナ情勢に伴う飛行ルートの変更によるフライト時間増加も訪日旅行の懸念材料となっている。なお、多くの市場において円安傾向が継続している。

## 1. アジア

### ① 東アジア

- 韓国は、867,200人(前年同月比 18.4%増)であった。清州～那霸間の新規就航、釜山～新千歳間、釜山～長崎間の増便をはじめとした航空座席数の増加、秋夕(チュソク)連休等の影響もあり、訪日外客数は10月として過去最高を記録した。
- 中国は、715,700人(前年同月比 22.8%増)であった。福州～成田間、上海～成田間の増便等をはじめとした航空座席数の増加、国慶節と中秋節の連休等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。
- 台湾は、595,900人(前年同月比 24.4%増)であった。台北桃園～福岡間の増便、台北桃園～神戸間のチャーター便の運航を含む地方路線による航空座席数の増加、10月に3連休が3回あったこと等の影響もあり、訪日外客数は10月として過去最高を記録した。
- 香港は、196,000人(前年同月比 1.4%減)であった。クルーズ船の寄港等はあったものの、前年は3連休となった重陽節が今年は連休にならなかつたこと等の影響により、訪日外客数は前年同月を下回った。

### ② 東南アジア

- タイは、125,900人(前年同月比 4.8%減)であった。年末に向けて徐々に需要が上向く時期

である中、祝日、スクールホリデーや、バンコク～羽田間の増便等による航空座席数の増加等があったものの、経済の不透明感による海外旅行需要の低迷等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

- シンガポールは、65,700人（前年同月比4.5%減）であった。年末に向けて徐々に需要が上向く時期である中、祝日の影響があったものの、一部路線での減便の影響等により、訪日外客数は前年同月を下回った。
- マレーシアは、57,800人（前年同月比4.9%増）であった。年末に向けて徐々に需要が上向く時期である中、査証免除措置による訪中旅行の継続的な人気等があるものの、スクールホリデーや祝日、マレーシアリンクスの影響等もあり、訪日外客数は10月として過去最高を記録した。
- インドネシアは、53,400人（前年同月比23.6%増）であった。年末に向けて徐々に需要が上向く時期である中、継続する日本人気の影響等もあり、訪日外客数は10月として過去最高を記録した。
- フィリピンは、86,200人（前年同月比7.4%増）であった。年末に向けて徐々に需要が上向く時期である中、スクールホリデーやクルーズ船の寄港、マニラ～新千歳間、マニラ～関西間の復便の影響等もあり、訪日外客数は10月として過去最高を記録した。
- ベトナムは、53,200人（前年同月比4.4%増）<sup>※</sup>であった。経済の先行き不透明感による海外旅行需要の減少等の影響があるものの、ハノイ～広島間、ハノイ～中部間の増便、ホーチミン～出雲間、ハノイ～福島間のチャーター便の運航等による航空座席数の増加等の影響もあり、訪日外客数は10月として過去最高を記録した。
  - 留学、技能実習等を含むその他客の多い市場であることに留意する。
- インドは、29,400人（前年同月比35.4%増）であった。ヒンドゥー教の新年に合わせた海外旅行需要の高まり、スクールホリデーや、ベンガルール～成田間、デリー～羽田間の増便、経由便の利便性の向上等もあり、訪日外客数は10月として過去最高を記録した。

## 2. 豪州、北米

- 豪州は、96,200人（前年同月比6.7%増）であった。減便等により前年同月と比較して航空座席数が減少したものの、継続する訪日旅行人気やスクールホリデーの影響もあり、訪日外客数は10月として過去最高を記録した。
- 米国は、335,700人（前年同月比20.6%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較して航空座席数が増加したことやクルーズ需要の高まりもあり、訪日外客数は10月

として過去最高を記録した。

- カナダは、73,700人（前年同月比 10.8%増）であった。秋は訪日需要が高まるシーズンであることや継続する訪日旅行人気もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- メキシコは、24,800人（前年同月比 29.2%増）であった。秋は訪日需要が高まるシーズンであることや継続する訪日旅行人気に加え、経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。

### 3. 欧州

- 英国は、63,300人（前年同月比 22.6%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、中国および香港経由等の経由便の多様化の影響や10月中旬から始まったスクールホリデーの影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。
- フランスは、58,200人（前年同月比 17.8%増）であった。秋は訪日需要が高まるシーズンであることや継続する訪日旅行人気に加え、若年層を中心とした訪日や10月中旬から始まったスクールホリデーの影響もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- ドイツは、56,000人（前年同月比 29.2%増）であった。秋は訪日需要が高まるシーズンであることや継続する訪日旅行人気に加え、中国経由等の経由便の多様化や祝日と10月中旬から始まったスクールホリデーの影響もあり、訪日外客数は10月として過去最高を記録した。
- イタリアは、29,400人（前年同月比 17.3%増）であった。10月は海外旅行需要自体が落ち着く時期であるものの、継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較して航空座席数が増加したことや経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は10月として過去最高を記録した。
- スペインは、28,700人（前年同月比 22.7%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較して航空座席数が増加したことや経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は10月として過去最高を記録した。
- ロシアは、30,100人（前年同月比 91.7%増）であった。ウクライナ侵攻による各国からの制裁等による影響が続いているものの、クルーズ需要の高まりのほか、中国経由をはじめとした経由便の多様化もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。

### 4. 北欧地域

- **北欧地域**は、23,900人（前年同月比 27.8%増）であった。秋は訪日需要が高まるシーズンであることや北欧地域各国において10月はスクールホリデーにより旅行需要が高まることに加え、訪日旅行に関する現地での報道の増加や前年同月と比較して航空座席数が増加したこともあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。

## 5. 中東地域

- **中東地域**は、27,900人（前年同月比 33.8%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較して直行便数が増加したことや10月上旬から中旬にかけてイスラエルにおいてユダヤ教の祝日が複数回あったため、訪日外客数は10月として過去最高を記録した。